

阪神地区私立大学教職課程研究連絡協議会
2010年度第3回(通算227回)幹事校会記録

日時:2010年10月20日(水)10:45~13:00

場所:大阪工業大学大宮キャンパス 多目的室3

出席:7校(12名)

大阪経済大学(樋口 太郎)

大阪工業大学(酒井 恵子、疋田 祥人、山口 洋之、西川 泰行、半田 孝)

大阪産業大学(山田 全紀、瀬島 順一郎)

関西大学(原 徹)

神戸女子短期大学(重藤 美江子)

相愛大学(佐野 正彦)

桃山学院大学(竹中 暉雄)

司会:酒井 恵子

記録:樋口 太郎

議事

(1) 第2回幹事校会記録の確認

訂正は特になし。

(2) 2010年度全私教協理事会報告

①第2回

酒井恵子事務局長より、2013年度の研究交流集会を阪神地区が担当することの確認がなされた。

②第3回

疋田祥人事務局次長より、全私教協がホームページを立ち上げるに際し阪神教協のホームページとのリンクが予定されていること、各地区で全体テーマ案、分科会テーマ案を提出する必要があることが確認された。

理事会報告について質問は特になかった。

(3) 2011年度全私教協研究大会の全体テーマ、分科会テーマについて

①全体テーマ

(2)での報告を受けて、全体テーマをどうするかについて議論がなされた。教員養成制度の大きな変更が予想される現状を踏まえたテーマを設定する必要があるのではないかと、あるいは「~のいま何が問題か」「~の課題」のように課題を浮かびあがらせるようなテーマを設定するのもよいのではないかなど意見が出た。結論としては、幹事校会で出た意見を踏まえて、会場校である関西学院大学と事務局とで最終決定することが承認された。

②分科会テーマ

同じく(2)での報告を受けて、分科会テーマをどうするかについて議論がなされた。教職実践演習と履修カルテや、教育実習や介護等体験における学生(特に特別な配慮を要する学生)への指導・支援といったテーマが提案された。後者については、特別な配慮を要する学生を実習に出すか出さないかの基準を各大学がどう設定・判断しているかについて知見を交流したいという意見も出た。結論として、以上の意見をもとに、次回の幹事校会でさらに議論することが承認された。

(4) 第2回課題研究会の進行について

今回の課題研究会の構成上、司会は一人でよいだろうとの判断から、司会を幹事校会のメンバーより竹中暉雄氏(桃山学院大学)にお願いすることが承認された。

(5) 第3回課題研究会について

原徹氏(関西大学)より、組織をキーワードにして、教職課程運営組織体制をテーマにしたいと考えていた

ところ、教職センターをもった大学から、多畑寿城氏（神戸女子大学）と荒木邦広氏（関西学院大学）に話題提供をいただけるとの内諾を得たとの報告があった。幹事校会での議論としては、組織体制問題一本か、履修カルテの話題も入れて行うかという点にしばられた。結論としては、第1部で組織体制について、第2部で神戸女子短期大学（仮）に履修カルテについての話題を提供していただくこととなった。

(6) 平成22年度「教職課程に関するアンケート」について

原徹氏（関西大学）より、新型インフルエンザについての項目を削除すること、履修カルテに関する質問項目を新たに設けることが報告・提案された。幹事校会での議論は後者にしばられた。履修カルテについてさらに聞いてみたい項目として、①カルテを全部開示するか一部開示にとどめるか、②アスペルガー症候群などの発達障害の学生が教職を目指す場合の対応という点も挙げられた。基本的に毎年質問項目は同じだが、②について臨時でアンケートをとることはできるとの提案が原徹氏よりあった。また、3月にならないと確定しない項目があるのでアンケートの発送は年が明けてからとすることが了承された。

(7) 今後の記録担当について

今回の第2回課題研究会の記録は川地亜弥子氏（大阪電気通信大学）、および第3回幹事校会の記録は樋口太郎氏（大阪経済大学）が担当する。次回以降、桃山学院大学、大阪音楽大学、相愛大学などの各大学に担当していただくことが確認された。

(8) その他

①新規加盟校（頌栄短期大学・神戸常盤大学）について

酒井恵子事務局長より紹介がなされた。

②加盟申込書の書式について

会員校、準会員校のどちらで加盟するかを選択肢の明示、阪神に加盟すると同時に全私にも加盟することになることの明記などの変更点が承認された。

③その他

特別な配慮を必要とする学生への指導・支援について、今回の幹事校会出席の各大学の現状を紹介する時間が設けられた。

④次回幹事校会日程について

12月22日（水）10:45～